

SSKR まうんてんえこお NO.298

社会福祉法人 練馬山彦福祉会

本部

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035
<http://herimayamabiko-hukushikai.jp/>

山彦作業所(就労継続支援B型)

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035
Email : ymbk@mvi.biglobe.ne.jp

山彦相談支援事業所(相談支援)

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9
TEL&FAX(03)3970-2365
Email : ymbksoudan@xqd.biglobe.ne.jp

やまびこ第二作業所(就労継続支援B型)

〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36
TEL(03)3933-8935 FAX(03)5398-7681
Email : ymbk2@mue.biglobe.ne.jp

やまびこ第二相談支援事業所(相談支援)

〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36
TEL&FAX(03)6906-9803
Email : ymbk2-soudan@xvd.biglobe.ne.jp

フラダンスにノリノリ!!

レイ(花飾り)も似合っていますね



コーラスやフラダンスのみなさんと一緒に歌って踊りました

楽しい会を閉めました。
最後にみんなで歌を歌つて
ハワイアンな陽気を楽しんだ様子でした。

今年もミニコンサートとして福家貴子先生率いるメロディーコーラスとハッピーバブルー(あわ)ーズに演奏していただき、美しいハーモニーを味わいました。

また初めての企画として、フラダンスグループに所属している利用者のご家族に来ていただき、フラダンスを踊つていただきました。利用者も、初めてのフラダンスに感激し、いっしょに踊つたり、

涼祭を行いました。連日35℃越え、とても暑い日々が続いた後の、待ちに待った納涼祭でした。金曜日とあって、多くのご家族・関係者の皆様にお越しいただきました。

焼きそばや焼き鳥、おにぎり、スイカなどをみんなで食べ、ビールを美味しそうに飲んでいる利用者もいました。

目次

表紙 山彦作業所
P2. 山彦・やまびこ第二 近況
P3. ワーク石神井・チャレンジ 近況
P4. 三原荘・相談支援 近況
P5. 国会議事行動報告
P6. バザーのお知らせ
P7. やまびこのベン(職員より)
P8. やまびこのかぜ(メンバーより)

編集人

社会福祉法人練馬山彦福祉会

東京都練馬区富士見台2-19-9
TEL(03)3998-5023

発行人

障害者定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドウーラ102号室

価格 20円

山彦作業所 近況あれこれ

なかなか近況をお伝えする機会がありませんでしたので、今号では4月～8月までにあつた行事等を報告させていただきます。

きょうされん東京大会に参加

5月10日（金）、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。今年は「しごと」・「歌つて踊ろう」の二つの分科会に参加しました。「しごと」では利用者による発表と作業風景のビデオを上映しました。（右の写真を参照）

夏季賞与支給

8月2日（金）に夏季賞与を支給しました。利用者の日頃のがんばりが賞与となりました。皆、笑顔で受け取っていました。（支援員 山田）



きょうされん東京大会 利用者発表

6月1日（土）合同運動会に参加しました。今年は記念Tシャツの販売があり、ほしい人は皆買い求めていました。その他には、お昼休みにU.S.A.のダンスを踊ったり、練馬区のご当地ヒーロー“ネリマックス”が来てショーやを行つたりと、趣向が凝らされており、利用者もみな楽しそうでした。（左の写真を参照）

中村橋ケアセンター夏祭りに出店



練馬区障害者通所施設合同運動会開会式にて利用者代表2名が「はじめの言葉」を行いました。

2019年度第一回家族会

6月16日（土）に第一回の家族会を行いました。練馬区社会福祉協議会権利擁護センターの小林さんをお招きして、「利用者が地域で生活していく為に、地域で使えるサービス」という講演をいただきました。

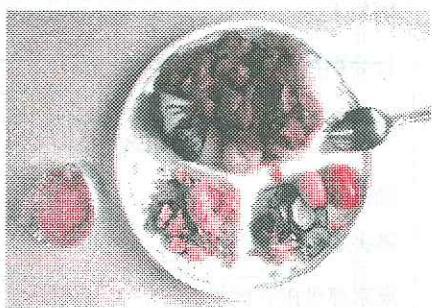
8月2日（金）中村橋ケアセンターのお祭りにお弁当の販売と、自主製品のミックスナッツ・ドライフルーツの販売で参加いたしました。お弁当は完売、自主製品もたくさん売れました。

やまびこ第一 お楽しみのランチサービス

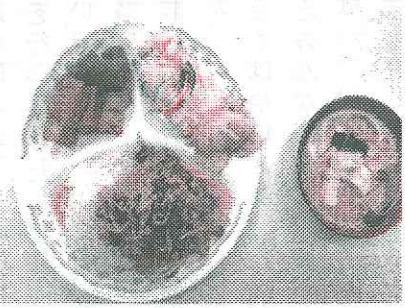
月に一度、光が丘ボランティアコナーを通じて地域のボランティアの方々に、ランチ（メンバーの健康を第一に気遣つたメニューで、心のこもったお惣菜と、ふっくらご飯）を作つていただいています。参加食費は300円です。

この「ランチサービス」は、昨年8月のグリーンリボンネットワーク（北町周辺の施設、地域住民、団体、ボランティア等の集まり）の会議で作業所メンバーの食生活について気にかけていただいた事がきっかけで始まりました。その後、数回の話し合いを重ねてメンバーカーからのアンケート回答も基にした結果、今日のランチサービスが誕生しました。

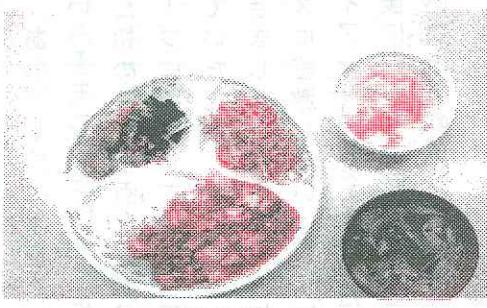
地域のボランティアの皆様、いつも有り難うございます!!



ハヤシライスと杏仁豆腐です



豚丼とカニカマサラダです



麻婆丼と杏仁豆腐です

ワークショップ石神井 近況

ワークショップ石神井のメンバーさんの中には、グループホームから通っている方もいらっしゃいます。今回は、グループホームでの生活の様子や、入ってみてよかつたこと、困ったことなどを聞いてみました。

Aさん（50代男性）

入ってよかつたこともあるし、悪いこともあります。よかつたことは、わからないうことは世話人さんに教えてもらえる。悪いことは、隣りの人に気を使ってしまう」と。

Bさん（男性）

自宅にいるときは父親が食事を作ってくれたが、今は自分で作って食べる。パックの「ご飯にレトルトカレーをかけラップをかけてレンジで温めた。ラップをかけるのは、他の入居者が世話人に教えてもらっているのを見て、覚えたこと。人の模倣をして新しいことを覚えられるのは集団生活の長所ですね。今いるグループホームは、期限が3年で、あと1年9か月で出なくちゃいけない。次の住む場所のことが心配。ちゃんと見つかるか、今より費用の高いところになつたらお金のこと心配。

Cさん（56歳男性）

家ではお母さんがご飯を作っていたが、（自分で作れない）買つたもので済ませているが、何を買つたらいいかわからなくなる。世話人さんが一緒に買い物に行つてくれた。



（渡辺）

グループホームによつていろいろな特色がありますが、一人ではわからぬことや、困つたことがあつたとき、世話人が話を聞いたり手伝つてくれることがよい、というのは共通なようです。

住み慣れた自宅や家族と離れて生

活をするわけですから、いい」とばかり、というわけにはいきませんが、困つた時は世話人に相談して、安心して生活できるとよいですね。

作業所としても、メンバーが安定して通所を続けられるよう、世話人とも連携をとりながら支援をしていきます。

①努力と協力ができる。

②出来ることを確実に実行する。

③出来ない理由ばかり探さない。以上の3つになります。

「求められる人材とは」

就労移行支援事業所チャレンジ、集団で就労準備プログラムでは、ビジネスマナーや面接対策の他に、体力づくりのためのウォーキングなどを実施しています。「就労準備」という広い意味の中でプログラムを企画しておこなうことで、その時々のメンバー構成や職員のアイデア・気付きなどに内容は変わります。

チャレンジワークやまびこ近況

①の努力と協力ができる。ということに関しては、私たちのなかでも特に異論はありません。個人として苦手なことも努力して行うこと。この、努力と協力は働くうえで求められる基本姿勢ではないかといふ話になります。

②の出来ることを確実に実行する。ということについては、行う時間を探けています。週に2回の集団プログラムでは、ビジネスマナーや面接対策の他に、体力づくりのためのウォーキングなどを実施しています。

「就労準備」という広い意味の中でプログラムを企画しておこなうことで、その時々のメンバー構成や職員のアイデア・気付きなどに内容は変わります。

次に、同じ職場の仲間同士で協力しあい、仕事をこなすことが協力です。手なことも努力して行うこと。この、努力と協力は働くうえで求められる基本姿勢ではないかといふ話になります。

③の出来ない理由ばかり探さない。ということに関しては、一つのチームの一員として働く以上、与えられた仕事はどうのよろしくて、その時々のメンバーや職員のアイデア・気付きなどに内容は変わります。

「企業が求めている人材」といっても、その企業ごとに違います。しかし、どの職場で働くとしても大事なのではないかと思われる「仕事への姿勢」について、就労準備プログラムのテーマにして資料を参考にしながらみんなで話し合いを行う機会がありました。

その内容のまとめとしては、

①の努力と協力ができる。②の出来ることを確実に実行する。③の出来ない理由ばかり探さない。以上の3つになります。

話し合いを通して、求められる条件を訓練中に全て満たすのには大変だけれど、このようないふたことを目指すという方向性を確認したことは大きな意味があると認めました。（大越）

やまびこ原荘 近況

親睦を深めた夕食交流会

第三者評価をきっかけに
よりよい運営をめざして

7月から指定の事業所に入つて
もらい「福祉サービス第三者
評価」を実施しています。第三
者評価とは、第三者の目から見
た評価結果を幅広く利用者や事
業者に公表することにより、利
用者に対する情報提供を行うと
ともに、サービスの質の向上に
向けた事業者の取り組みを促す

現を目標するものと示されていま
す。

入居者への聞き取り調査を終
えて、職員は自己評価を記入し、
訪問調査が入る予定です。当事
業所での第三者評価は初めての
実施です。運営や支援等現状の
いいところも悪いところも、こ
の機会に確認できたらと思いま
す。

世話人は生活支援に携わる中
で葛藤することが多々あります。
支援会議、職員会議等を通して
議論を重ねますが、どこまで世
話人は実践できているのか、ど
う高めていけばよいのか、今回
の第三者評価はその物差しにな
ればと思っています。



夕食交流会。
皆で同じ時、同じ場所で、同じ物を
食べる。大切な機会です。

7月に夕食交流会を行い、所の夢庵（和食レストラン）で近い
しゃぶしゃぶを楽しみました。入居者、世話人、理事との親睦
を深めることが主な目的で、年に2回実施しています。

ミーティング以外で普段入居者全員が集まることが少ないため、貴重な時間となっています。しゃぶしゃぶや鍋をみんなで突くことは、自然とお互いに声をかけ合う場面も増えて、交流にもいい設定となりました。

（世話人 佐藤）

私が入職した当時は、地域の社会資源はまだ乏しく、法内・区立の事業所はまだ少なく、その穴を埋めるようにして、共同作業所と言われる無認可・法外の事業所が、細々と運営をされていて、色々な活動を開していました。利用者の家の片付け、引っ越し、アパート探し、家族の支援、就労支援等々街を動き回っていました。契約という概念はありませんでした。

現在の契約の時代では、「私たちの業務はここまで」と線引きをする事業所も少なくありません。有資格者も多く、専門性は高くなっていますが、「必要なことをやる」と言うよりも、「私たちの守備範囲はここ」と厳格になりました。

まさに自分がそうです。以前なら訪問先で台所が汚れていると、とりあえずは、そこで「一緒に掃除をする」だつたのですが、今は「居宅を入れた方が良いな」と考えるだけで、とりあえずの掃除をすることが無くなっています。夏場の生ゴミはすぐに腐ります。夏場の生ゴミはすぐに腐ります。匂いを出します。ヘルパー導入まで1ヶ月はかかるのに・・・。

先日、高齢の方のお家に訪問しました。そこで「トイレの換気扇が外

相談支援事業所近況

お願いされました。「誰もやつてくれなくて・・・困っているんです・・・」と。制度が小刻みに分かれています。この事業では、「この支援は「出来ない」と厳格になっています。

「出来ない」と厳格になっています。その日、私は気楽に「いいですよ」と修理をしましたが、きっと行政の方をはじめ、やりたくても出来なくて辛い思いをしている支援者も結構いるだろうな・・・私がやつたら、その人たちはどう思われるだろう・・・。と思いました。また、換気扇を壊しました。責任は?等々と考えると、業務の中でやることに躊躇いもあります。

「ありがとうございます」の言葉をもらいました。嬉しさと、怖さ、制度的な限界等々。業務の範囲、責任を考えると、無責任なことをしたのかもしれません。共同作業所時代なら、当たり前にやつていたことが、今はそうではない。少し寂しさを感じました。進歩しているのか?後退しているのか?全体が見られなくなつたのは自分なんかが知らない、と言う怖さもあります。心のどこかから「やつちやえ!やつちやえ!」と言う声も響いています。その声に従つて良いのか・・・。あらゆることで、そんな日が続いています。

（やまびこ第一 池田）

きょうされん第42次国会請願署名・募金運動にご協力いただきありがとうございました

8月20日現在で法人内事業所に集まつた署名は
2,286筆、募金額は
8万21円でした。

5月23日に行なわれた国会請願行動に、山彦、やまびこ第二、ワークの各作業所から利用者7名、職員3名が参加し、みなさまにご協力頂いた署名を、国會議員へ届けてきました。

当日は全国からたくさんの方々が集まり、皆で分担して国会議員を訪問したり、政党懇談会などにも参加しました。

やまびこ三所は、各議員を訪問し署名を手渡したほか、立憲民主党の政党懇談会に参加し、利用者はそれぞれの思いを自分の言葉で議員に伝えてきました。

第42次国会請願署名の紹介議員になつていてくださいました。議員は327名（全議員数703名）となり、今年も全都道府県、全会派の議員に紹介議員になりました。

参加者の感想

「第42次国会請願に参加しました」

桐生章宏



政党懇談会を終えて

きょうされんの報告によりますと国会請願署名の審議にあたつては、昨年に比べ、請願署名の審議時間が確保されております。また、署名は28年続けて100万筆を超えて、大きな力となつていることは間違ひありません。

次回以降も引き続き運動の輪が広がるよう、ご協力をお願ひいたします。

（ワーク 渡辺）

署名をわたす時は、緊張したけど受けとつてもらつた時は、とてももうれしかったです。議員さんに握手してもらい名刺をもらいとてもうれしかったです。

今年は、国会請願に参加できることは、とてもいい勉強になりました。来年も参加したいです。

「署名を持って行きました」

勝亦俊春

5月23日に、国会請願の署名をわたしに、国会議員に会いに行きました。

僕は、議員さんに署名をわたらしに、「生活保護費をこれ以上下げてほしくないので、下げないでください」とお願いしました。議員さんの名刺ももらいました。

議員さんにお願いに行くのは大変だなあと思いました。

きょうされん第42次国会請願署名・募金運動にご協力ありがとうございました。

しかし、請願の審査結果は、残念ながら「保留」＝不採択となりました。

政党懇談会にも初めて参加させていただきました。テレビの中でしかみたことのない議員さんに政党懇談会でお会いできてとてもうれしかったです。

政党懇談会で議員さんのいる前で、「工賃をもう少し上げてください」とお願いしました。自分の発言したことが、議員さんにうまく伝えることができて良かったです。

署名をわたす時は、緊張したけど受けとつてもらつた時は、とてももうれしかったです。議員さんに握手してもらい名刺をもらいとてもうれしかったです。

今年は、国会請願に参加できることは、とてもいい勉強になりました。来年も行きたいです。

大変だったけど行ってみてよかったです。

ロースかつがおいしかった。

遠いところから来た人も、たくさんいました。すごいなあとと思いました。

議員会館はあまりにもガードマンがいっぱいいて、きびしいなあ、と思いました。荷物検査がたくさんありました。

みんなの前で自分の意見を発表しました。発表したときは、すごい緊張しました。

全国から集まつた署名は

101万4423筆

募金は2800万円を超えました

（7月3日現在 きょうされん全体の合計）

練馬山彦福社会 バザー開催のお知らせ



山彦作業所バザー

10月19日（土）

時間：10：00～13：30

場所：山彦作業所
(雨天決行)

一作ツ販
ミニも
メン品一
バニル食
と康フ
品健イ
物のラ
なめド
様袋ツ
他るツい
々詰とす
雜貨よナ
業ク売
にスし

みなさまのお越しをお待ちして
おります。



やまびこ第二バザー



10月12日（土）

時間：10：00～13：30

場所：やまびこ第二作業所
(雨天決行)

雜貨・くつ・カバン・小物・文
具、わたあめ・ジュース他模擬店
※内容が変更になる場合もあります。

交流、当会
と工入のため
の賃貸有りなバザー
とま場をお待ちして
ます。さりとて
まい来事
の工賃を
お待ちして
ます。
さりとて
まい思
な作
な金
みらま
の資
もたさ
域業
年きな
地事
今でみ
にに
お

ワークショップ石神井 バザー

11月23日（土）

時間：10：00～14：00

場所：ワークショップ石神井
(雨天決行)

建物になって初め
ます。今まで、ぜ
ど予定あります。
しで販売します。
新一雑貨一くるい
はザや販賣場であ
て年バ類し店來りつ
今の衣意擬ごねな
て用模ひ※と

やまびこのペン

感動し学んだこと

草場啓介

7月に息子の高校野球最後の試合があつた。野球好きなら知っている人も多いと思うが、高校野球の最終試合は、夏の甲子園予選から始まり、負けた時点で引退となる。息子の野球部はここ数年間公式戦連敗記録を更新中であり、昨年夏には強豪のU学院と対戦し結果は7回コールド負け。しかし選手たちは一生懸命強豪校と戦い、いろいろな意味で良い経験になつたと思う。

しかし、新チームになつてからは連敗記録どころか昨年の夏から秋にかけての公式戦はすべてコールド負けをしてしまつた。その悔しさをバネにして冬の間基礎練習はもちろんのこと、それぞれ自分が自分の課題に取り組みピッチャーは投げ方まで変えて練習に励んだ。その結果、春の大会では9回まで

角に戦つたが9回に力尽き大量失点をしてしまい敗戦。しかし、その試合では球場に来ていた野球好きなおじさんが、強豪校相手に良い試合をしているのを見て「実力差はあるが選手の一生懸命のプレーを見てじつとしていたれなくなつたので一緒に応援させてください。」と私たちの応援に加わる場面もあつた。その時、試合の勝ち負けだけでなく、選手のプレー一つ一つが感動を呼び球場中に広がつて、全體が味方になるような感覚を肌で実感し感動した瞬間だつた。この調子で頑張れば夏には念願の1勝も夢ではないとみんなが感じた。

そして高校野球最後の夏がやつてきた!なんと大会の初戦は偶然にも昨年コールド負けしたあのU学院に決まつた。正直みんな落ち込んただろうなと思っていたら、息子を含め選手はみんな、去年のリベンジが出来ると意外にも喜んでいた!昨年はどこか名前負けしていたように思つていたが、今年のチームは昨年の先輩から受け継いだものがあり、活気とたくましさを感じた。壮行会でも監督が昨

年の言わなかつた勝利という言葉を使つていたのも印象的だつた。当日は梅雨の晴れ間の良いコンディションで試合を行うことが出来た。試合結果は5対0で負けたが、点差ほどの差はなく本当にいい試合だつた。何よりも息子たちのチームはノーエラーで、ヒット数もU学院が11に対して8本と打ち負けていた雰囲気もない。最大の見せ場は8回2アウト満塁で息子の打順が回ってきた!つながれば次は4番と大量得点のチャンス。初球を狙つて打つた球はヒット性の当たりだつたが、ライトがファインプレーでキャッチアウト。今回試合中何度もチャンスはあつた、しかしここぞという所で相手はミスをしないでファインプレーでアウトに出来ることが強豪チームの強さだなと思う。

応援では応援団長を1年生の女子マネージャーが務めていたのだが、試合後の相手高校から私たちの学校に健闘をたたえるエールがあり、応援団長も泣きながら応援席のみんなと一緒に相手にエールをおくりそれに答える。試合後の選手たちが抱き合つて泣いている

姿を見て本当に感動し、この涙はきっとと言葉では言い表せないものと思う、そこにはきっと3年間一生懸命野球に向き合つてきたからこその大切さなどたくさんの中を学んだと思う。今、スポーツ界ではいろいろ問題も多いが、本来のスポーツの意味をしっかりと見つめて、今後も純粋にスポーツを楽しめる環境を作つていくことの大切さを実感した。これは人生においても当てはまるところで、今回は高校野球を通じてそのことを学び、自分も年をとつたなうつとひしひしと感じてしまった。



やまびこのかぜ

グループホームに入居して

やまびこ三原荘 ガ琲大好きわん

私は、今年の1月にやまびこ三原荘へ入居しました。入居前は6年半ほど精神科で入院していました。退院して地域で生活をしましたが、治療が長くなってしましました。とても長く辛い入院生活でした。「全般性不安障害」という特有の生きずらさがあります。

院内のプログラムのOT（作業療法）でエクササイズがあり、毎日活動していました。このプログラムの参加が退院に向けての体力づくりになりました。

病棟の退院促進プログラムが毎週1回あり、「食事について考える」、「お金の管理について考える」「近くの公共施設に行つてみよう」等のテーマがありました。それが地域生活支援センターにつながる機会になりました。昨年3月に同センターの地域移行プログラムに参加することになり、グループホームの見学をしました。夏の暑い時期でした。グループホームは6カ所くらいい見学に回りました。三原荘の部屋は広くはなかったですが、雰囲気がよくてここを

希望し、3回試泊をしました。食事サービス、入居者のミーティング等に参加しました。緊張していたので、あまり覚えていませんが雰囲気がよかつたことは覚えていました。無事に入居が決まった時はほっとしました。世話人さんが病院へ来た際、ぜひ入居して下さいと言われて本当に嬉しかったです。

いざ入居すると、新しい環境のせいか、不安が強くなりました。三原荘での生活の勝手がよくわからず、不安が強くなることが多かったです。個室なので、プライバシーが守られている安心感はありました。大泉学園駅の商店街にはお店が多く、賑やかで新鮮に感じました。喫茶店も多く、コーヒーが好きな私にはとても嬉しい環境です。時々お友達と一緒にお茶をして、至福の時を過ごしています。

三原荘に入つてよかつたことは、束縛のない生活を送れることです。食事サービスは朝食3回、夕食3回あります。食事の雰囲気はとてもいいです。

フロアでは、時々女性入居者、世話人さんでちぎり絵や革細工等の制作をしています。掃除当番があり、2週間単位で当番が回ってきて、そこは少々辛いです。集団生活なので、フロアでお風呂とか洗濯の時間等お互いに配慮して過ごしています。

す。世話人さんが常時いるとは思わなかつたので、色々と相談ができます。通院への同行や生活費の管理をしてもらっています。訪問看護も週に1回入ってもらい、服薬の管理をサポートしてもらい、助かっています。

通院先を近くのクリーチクに替えて、7月からそこの「ティケア」に週に1回ストレッチに参加して体を動かしています。

現在住んでいる部屋は「通過型」で、3年の入居期限があります。その後の将来的な生活には不安があります。

パートでの1人暮らしは難しい暮らしは難しいと思っています。

この先も今の世話人のサポートのようなものがあるといいなと思っています。

編集委員より

暑い日が続いています。今年は朝食3回、夕食3回あります。食事の雰囲気はとてもいいです。
（渡辺）

